

は し が き

このたび、幕末から明治にかけての文明開化の先覚者であり、のちに官を辞して関西実業界の最高指導者として活躍された大阪商法会議所初代会頭五代友厚の書翰・文書四、五〇〇点が、ご遺族のご好意により本所に寄贈されましたことは、まことに喜ばしいことであります。

これらの書翰・文書は五代友厚のご嫡孫・五代信厚氏（在東京）所蔵にかかわるもので、今月まで国立国会図書館に仮寄託されていましたが、このような貴重な遺品は友厚ゆかりの大阪商工会議所に保存されることが最もふさわしく、この資料コレクションを通じて五代友厚の精神が広く理解され、その志が継承されることを念願された信厚氏のご意思により実現を見たものです。ここに信厚氏のご厚情に対し厚くお礼申し上げますとともに深甚なる敬意を表するものであります。

本所では、これらの書翰・文書の受入れにあたり、図書館内に五代友厚文書コレクションのための特別資料室を設置するとともに、書翰・文書を整理して本冊子「目録」を作成したのであります。またこの機会に、信厚氏所蔵の書翰・文書のほかに、五代各家に分有されているものをも採録するとともに、本所にてお預りすることになりました。この結果、書翰・文書の点数は約六、〇〇〇にも達する歴大なものとなりました。このため目録編集に一年有余の日子を要しましたが五代友厚書翰・文書の目録としては他に類を見ない貴重なものとなりました。

また、寄贈者五代信厚氏のご希望もあり、かつ、これら貴重な文書類を明治期の一般史および経済史の資料として広く有効に活用していただくために、目録に採録したすべての書翰・文書をマイクロ撮影し、そのフィルムを国立国会図書館および鹿児島県明治百年記念館に寄贈することに致し

高橋龍子（友厚曾孫）、五代喜代子（友厚孫）、山中園子の三氏には、その所蔵にかかわる書翰・文書の目録への採録ならびにマイクロ撮影ならびに本所への寄託につき、ご快諾を賜りましたが、これにより本目録の内容は一段と充実し、学術的な価値を高めることになりました。そのご好意に対しても厚くお礼申し上げます。

関西財界の生みの親ともいふべき五代友厚の書翰・文書が本所に寄贈されましたのは、五代友厚顕彰会会長、衆議院議員菅野和太郎先生ならびに本所監事西村重太郎氏（集画堂印刷裱会長）のご斡旋の労に負うところ多大なものであります。とくに西村重太郎氏は五代友厚についてのご造詣が深く、さきに『五代友厚小伝』を著述されましたが、今回の書翰・文書受入れにあたっても献身的にご奔走下されました。また、五代信厚氏ご長女三塚則子氏（国立国会図書館勤務）は、信厚氏の代理として事務連絡ならびに資料整備に万全を尽されたのであります。

目録編纂にあたっては、本所が研究調査員として委嘱しました佐々木克・川崎勝の両氏は、一年有余にわたり資料考証と克明な目録編集作業に当たられたのであります。この編集事務にご協力を惜しまれなかった国立国会図書館長宮坂完孝氏、同館総務部長酒井悌氏、ならびに同館憲政資料室の大久保利謙・桑原伸介両氏のご助言とご助力に対しては、深く感謝しております。

なお、五代友厚顕彰会では、その顕彰事業の一つとして日本経営史研究所（会長土屋喬雄氏）の編纂による『五代友厚伝記資料』全四巻（東洋経済新報社刊）への協力を行なってきましたが、本目録の文書がその基礎資料となっております。

関係者各位の非常な熱意とご協力によって完成されました本目録が、五代友厚の事蹟をより広く一般にも認識される契機ともなれば望外の幸せと存じます。

昭和四十八年十二月一日

大阪商工会議所

会 頭 佐 伯 勇